

## 滋賀県がん診療連携協議会・第2回相談支援部会 議事概要

日時：平成21年11月19日（木） 17:00～20:00

場所：成人病センター11F 会議室

出席者： 12人 うち部会員9人

【部会長】成人病センター 鈴木副院長

【副部会長】大津赤十字病院 芥田部長、市立長浜病院 伏木部長、

【部会員】大津赤十字病院 山本看護係長、公立甲賀病院 木本臨床心理士、  
彦根市立病院 教野 SW、滋賀県がん患者団体連絡協議会 池田会長、菊井副  
会長、

【滋賀県】健康推進課 高田室長補佐、加賀爪主査

【事務局】成人病センター医事課 谷口、経営企画室 沼波

【欠席者】滋賀医科大学医学部附属病院 服部副看護師長、市立長浜病院 入江副センター長  
東近江健康福祉事務所 中村副主幹、高島健康福祉事務所 雨森主幹、湖東健  
康福祉事務所 大林課長

### 1 部会長あいさつ（鈴木部会長）

- ・ 部会員紹介 彦根市立病院 がん相談支援センター 教野仁美 SW に交代
- ・ 部会の21年度の取組状況および今後の予定・・・別添 スケジュール表にて説明

### 2 議題

#### （1）がん相談Q & Aについて（別添資料に基づき、事務局より説明）

今後の進め方

提出いただいたがん相談Q & Aの修正追加

- ・ 12月11日（金）までに部会事務局 谷口あてにメールで報告  
提出後、事務局でQ & Aの体裁や内容を確認し、各病院に送付  
各病院で最小限の修正追加後、病院のホームページに別添案内文  
「患者・家族の皆さんへ」と質問項目一覧を付けて掲載する。

（今後の進め方 了承される。）

今後の作業を当日配布のA4両面4ページの成人病センターの「9の緩和ケアQ & A、  
10の相談支援センターQ & A」を使って事務局より説明する。

- ・ 見やすいように改行等を行った。
- ・ 成人病センター以外の病院の案内も掲載した。
- ・ 9の緩和ケアQ & Aのなかで述べている「9、9、9の緩和ケア病棟」につ  
いては、設置されていない病院でも掲載をお願いしたいので、修正が必要な場合は  
言って欲しい。

10のがん相談支援センターQ & Aでは、各病院のホームページ等の中でがん相  
談支援センターの案内を行っている。今回のQ & Aでもがん相談支援センターの説  
明をしており、ホームページとの重複や表現が違うところもあると思うが、このま  
まで掲載したいと考えている。修正が必要な場合は言って欲しい。このことは、各  
病院から出てきたQ & Aの全ての項目においても共通する課題となっている。

（成人病センターのQ & Aの説明、掲載の考え方等について、了承される。）

（なお、部会員さんからは、10のを11の に、10のを11の に移すこと、  
9の緩和ケアに緩和ケア外来、医師の緩和ケア研修会などの追加があった。）

引き続き、各病院のQ & Aを個々に確認

部会員さんから出た基本的な意見等は次のとおり。

それぞれの項目で出た意見の詳細は、掲載していないので各々責任を持って調整願いたい。

- ・ 各受け持ちのQ & Aの内容、長さ、体裁にばらつきがあるため、他病院等と比較の上、それぞれで修正することになった。
- ・ 追加のQ & Aがある場合、今回作成し乗せることとなった。追加の部分について、時間がかかればでき次第追加するものとする。
- ・ 各項目の追加、修正は各病院・患者会間で行うが、全部の病院・患者会に関係することなので、メールは必ずCCあるいは全員返信で送るものとし、部会員全員が見られるようにすることとなった。BCCでは送らないこと。
- ・ 体裁を整え、見やすくする。 改行、段落、行間を空けるなど
- ・ 一般の方が読むことを前提にできるだけ分かり易い内容で。ただし、患者さんや家族には詳しく知りたい方もいるため詳細な情報がわかるリンク等を上手く使う。
- ・ 回答のばらつき 長すぎるものは短く、短すぎるものは長くする。
- ・ 11項目に整理したQ & Aのうち重複しているもの
  - 重複はできるだけなくす。重複項目については担当病院・患者会間で調整しQ & Aを項目間での載せ替えをする。
  - 重複はしていないが他の項目への載せ替える方がよいQ & A含む。
- ・ 11項目のうち「4 がん検診・検査」
- ・ 今回出てきたQ & Aの内容が市町の実施する検診のQ & Aと、PET検査など患者の診断や検査に関するQ & Aがあるので、「4 がん検診・検査」は「がん検診」と「がん診断」の2つに項目を分け、Q & Aを作成する。
- ・ 市町の実施するがん検診については、県健康推進課が担当する。
- ・ 11のその他については、患者会さんが今まで聞いてきた生の声を掲載したものであることから、余り形にはこだわらないが、あまり長くならないよう工夫する。項目名も「11のその他」から仮称「11の患者会Q & A」とする。
- ・ 病期の分類について記載する。
- ・ 滋賀県のがんの現状を記載する。
- ・ がんの原因には生活習慣も関係するのではないかと。禁煙につながるような内容が望ましい。
- ・ 禁煙外来のある施設（禁煙治療に保険が使える医療機関）がわかるよう、日本禁煙学会HPの施設一覧のリンク先を貼る。
- ・ 分子標的薬についてのQ & Aも設ける。
- ・ セカンドオピニオンの費用のQ & Aには、「詳しくはがん診療連携拠点病院のがん相談支援センターなどにお問い合わせください」など追記してはどうか。
- ・ 滋賀県がん患者団体連絡協議会についてのQ & Aを設ける。
- ・ 各病院のHPにも臨床試験（治験）についての情報があればリンク先を貼る。

## (2) 相談員研修（別添「滋賀県がん医療フォーラム」により事務局説明）

今年度は、滋賀県がん診療連携協議会主催の「滋賀県がん医療フォーラム」への参加を相談員研修に位置づけることと承される。

日時・場所：平成22年2月5日（金） 午後2時～4時 男女共同参画センター  
各病院・患者会へパネリスト各1名を別途要請予定。

(3) がん患者サロンの普及、がん患者ピアサポーター養成講座

(別添「がん患者サロン」「ピアサポートが行える相談員への養成」により患者会説明)

がん患者サロン

H21、22年度がん患者サロン開設状況について

- ・成人病センター（H20.12）、市立長浜病院（H21.9）、大津赤十字病院（H22.1）、滋賀医大を目指している。
- ・東近江圏域、高島圏域については、県が保健所と調整する。
- ・H22.1月患者サロン開設予定の大津日赤より、  
患者サロンの運営はがん患者団体である旨が滋賀県がん対策推進計画に記載されていることや、他のボランティアさんに旅費を出していないことからピアサポーターへの旅費の支弁は難しいと会計担当から言われている。
- ・成人病センター がん対策推進計画を読めば、たしかにがん患者サロンはがん患者団体が主体的に実施するように読める。その意味では大津赤十字病院の会計担当が言われることもわかるし、病院としての経理的な判断であれば何とも言えない。ただ、がん対策推進計画はともかくとして、がん患者サロンには、病院主体のものと患者さん主体のものという2パターンある。病院主体のところには、飲み物の提供さえしているところがある。当センターでも、当初旅費は予算担当から疑問視された。しかし、成人病センターが設置・運営するサロンに世話役として招聘するものであり、講師の招聘と同様に旅費は必要と説明し、最終的には了解が得られた。基本的には病院幹部の理解を得てから、旅費の予算確保に動いた。病院幹部にがん患者サロンの意義や必要性を理解してもらうのに苦労したが、理解が得られた後はスムーズに動いた。
- ・市立長浜病院 当院でも最初、図書券でという話があった。
- ・患者会 病院内での理解が得られることの方が大事。理解が得られないままやるのはどうかと思う。開設が遅れてもいいので、病院内での理解が得られるようがんばってほしい。遠くから行く人もおり、旅費はお願いしたい。
- ・事務局 これまでも努力されているとは思いますが、説明にご努力いただきたい。
- ・大津日赤 もう一度説明に当たる。

がん患者ピアサポーター養成講座について(滋賀県がん患者団体連絡協議会より説明)

- ・H22年度も養成事業を行う予定で調整している。各病院から3名受講者を推薦いただきたいと思う。滋賀県がん患者団体連絡協議会から推薦できるメンバーにも限りがある。

(4) セカンドオピニオン提示体制を有する医療機関の一覧の作成・共有・広報

(別添 セカンドオピニオン外来対応状況により事務局より説明)

がんに関するセカンドオピニオンリスト

共有・公開（HP掲載等）

- ・各病院のセカンドオピニオン対応状況をまとめた資料は、各がん相談支援センター担当者への照会結果をまとめたもの。がん診療連携協議会としてHPに掲載させていただく。もし誤りがあれば早急にご連絡ください。
- ・各病院のセカンドオピニオン対応医師の一覧表について、各病院で作成いただいた。これは各病院でHPに掲載してください。成人病センターは、従前から掲載しており、既に今回更新したものをホームページに掲載している。

- ・ 医師の氏名と取得されている専門医等の資格も併せてまとめたものであり、こうしたものがあると患者さん達にもわかりやすいと思われます。

(5) インフォームドコンセントについて (滋賀県健康推進課)

(別添 インフォームドコンセントに係る実態調査について(案)により高田補佐説明)

- ・ 他の府県でもこのような調査はあまり例がないのではないか。素晴らしいことではないか。
- ・ 自由記述による回答欄は避け、できるだけ選択式の質問項目を立てること。そのようにした方が、回答の集計・分析がしやすい。
- ・ 滋賀県がん患者団体連絡協議会が、医師の部会員(鈴木先生、芥田先生、伏木先生)のアドバイスを得ながら、患者・患者家族の視点でアンケートの具体的な質問項目案を考え、県健康推進課に提示する(次の部会までに)。
- ・ その上で、県健康推進課がとりまとめた調査票案を次回の相談支援部会でさらに検討する。

(6) その他

- ・ 21年度最後の部会となる次回は、2月中旬～下旬頃を予定。